

レッスン3

るすばん電話

でんわ



本文

ほんぶん

Main Text

るすばん電話を利用する人が多くなつた。るすばん電話はたしかに便利である。だれも家にいないときにだれかから電話があつた場合、あとで録音テープでその内容を知ることができる。家にいるときでも、ふろに入っていたりして、電話に出ることができないこともある。たとえば、食事中やテレビでおもしろいドラマを見ているときなど、電話に出なくてすむ^{*}のは、ありがたいこと^{*}である。

それほど便利なものであるが、つけないと言う人も多い。電話をかけたとき、相手の声でなく録音テープを聞くのが不ゆかいなためである。「いまるすです。ピーという音のあとで、ご用件をお話してください^{*}」という事務的^{じむてき}な声を聞くのがきらいだし、人にもそんな声を聞かせたくない^{*}、と言う人が

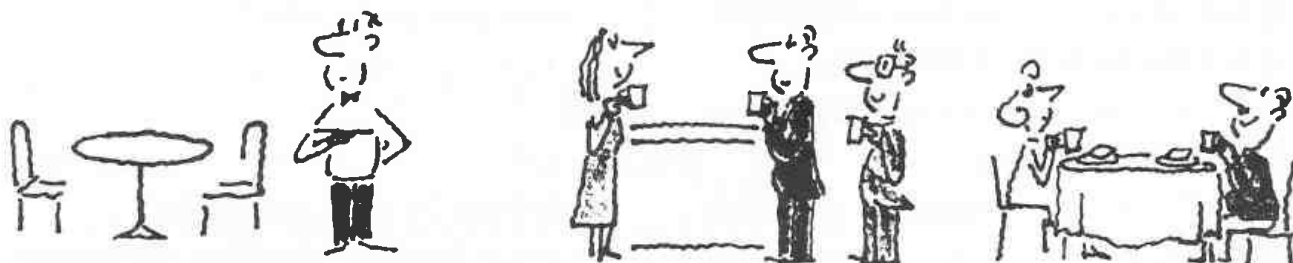
多い。

るすばん電話の伝言にしたがつて、電話してみると、その人もるすばん電話をつけているので、録音テープに話をする。その返事もまた録音テープということもある。こうなると、人と話すのでなく、いつもマイクにむかって話すことになる。普通の人も、テレビやラジオのアナウンサーになったようなものだ。

話しかけてすぐ返事を聞くことができるのが、電話の魅力であるが、るすばん電話ではそれがない。手紙をうけとって読んで、返事を書いて送るのと似ている。もちろんその早さは手紙と比較にならないが、同時性がないという点では、手紙時代に逆もどりした^{きやく}ような気がする。

レッスン4

コーヒー



本文

ほんぶん

Main Text

最近、都会の喫茶店の数がへっている
そうである。ひとつの原因は、週休
二日の会社や役所がふえたことである。
このため、土曜日に店をあけても商売
ができなくなってしまう*。もうひとつ
の原因は、土地の値段が信じられない
ほど高くなったことである。これまで
のように、お客が一ぱいのコーヒー
でゆっくり休んでいると、お客の数が
かぎられる*ので、高い地代を払うこと
ができなくなってしまうそうである。

そこで最近多くなったのは、いまま
での喫茶店よりずっと安いコーヒーを
出し、お客は立って飲むという形の店
である。お客はどんどん出ていくから
コーヒーがたくさん売れるわけである*。

いっぽう、家庭でコーヒーを飲む人
は多くなった。コーヒー豆の輸入の量
は

は毎年ふえているそうである。朝、ご
はんとみそするという食事をする人が
少なくなって、パンとコーヒーの人が
多くなった。コーヒーはいわばみそし
るのかわりである。

いまの中年以上の人たちは、コーヒ
ーがぜいたく品であった時代の記憶を
もっている。その人たちの少年時代
には、コーヒーは欧米の文化のかおりを
伝えるものであった。コーヒーを飲む
ことは、単にのどのかわきをとめるこ
とでなく、日常をはなれた文化の世界
にあそぶ*ことであった。

最近のコーヒーは、朝のみそするの
かわりとなり、コーラに似た立ち飲み
の飲み物になった。味そのものは変わ
っていないが、コーヒーに対する人々
の気持ちが変わってきたと言えよう*。